

目的（ミッション）

芸術文化に関する発信と対話により、県民の理解と参加を促し、創造的で人と人が響き合う、文化力に満ちた滋賀の未来づくりに貢献する。

展望（ビジョン）

地域の芸術文化振興の専門機関として

- オープンな場を提供し、対話と共感、創造を育む。
- 表現者、鑑賞者、担い手を育成し滋賀らしい芸術文化の発展に寄与する。
- 多様な才能と地域資源を結集し、新しい価値や芸術を生み出す拠点をつくる。

芸術文化サポート
～感性をつなぐ～

県民や市町ホールとの協働により、県内各地で行われる多様な文化や芸術体験を通じて個人の感性を豊かにし、文化や芸術を育む土壌をつくる。

創造発信
～好奇心をつなぐ～

表現者、創造者らとの協働により、滋賀の魅力や未知の可能性に対する好奇心を喚起し、新しい発見と学びを文化や芸術に還元する。

調査・情報交流
～記憶をつなぐ～

滋賀の「記憶」を探り、記録し、つないでいく器として、季刊誌「湖国と文化」を発行し、滋賀の文化と未来を考えるための情報を提供する。また、専用ウェブサイトを活用し、芸術文化関係者への情報提供とコミュニケーションを充実させる。

利用者イメージ

芸術文化の鑑賞者や専門家に限らず、
多様な立場の人々が利用できる

県民	「観る人」から「関わる人」への窓口
芸術家・クリエイター	表現の場の開拓、社会との接点、共創の拠点
こども	芸術文化との出会い、学校外での学び、自己表現の場
障害者・外国人・高齢者	表現を県民につなぐ場、多様性に出会う社会包摂の場
地域・NPO等	まちづくり、社会活動との協働の場
文化ホール関係者	文化振興事業の協働、ネットワークの場

センターが果たす役割とコンセプト



びわ湖芸術文化交流センター
Biwako Arts & Communication Center / BiWACC

1 目的（ミッション）

びわ湖芸術文化交流センター（Biwako Arts & Communication Center / BiWACC）は、芸術文化に関する発信と対話により、県民の理解と参加を促進し、創造的で人と人が響き合う、文化力に満ちた滋賀の未来づくりに貢献する。

2 展望（ビジョン）

芸術文化振興を推進する専門機関として、次の役割を担う。

- オープンな場を提供し、芸術文化で人と人をつなぎ、対話と共感、創造を育む。
- 次世代の表現者、鑑賞者、担い手を育成することで、滋賀らしい芸術文化の発展に寄与する。
- 芸術家、県民、地域、専門家、企業など、あらゆる主体との協働により、滋賀の多様な才能と地域資源を結集し、新しい価値や芸術を生み出す拠点を築く。

3 利用者イメージ

芸術文化の鑑賞者や専門家に限らず、多様な立場の人々が利用できる。

1. 県民 : 「観る人」から「関わる人」へ
2. 芸術家・団体、クリエイター : 表現の場の開拓、社会との接点、共創の拠点
3. こども : 芸術文化との出会い、学校外での学び、自己表現の場
4. 障害者、外国人、高齢者 : 表現を県民につなぐ場、多様性に出会う社会包摂の場
5. 地域、NPO等 : まちづくり、社会活動との協働の場
6. 文化ホール関係者 : 文化振興事業の協働、ネットワークの場

4 センターが果たす役割とコンセプト

センターでは、「感性をつなぐ」「好奇心をつなぐ」「記憶をつなぐ」をコンセプトに、芸術文化サポート、創造発信、調査情報発信の3つのプロジェクトに取り組む。

各プロジェクトのコンセプトに掲げた「感性」「好奇心」「記憶」は密接に関係しており、相互に成長を促す関係性にある。芸術や文化の振興に重要な感性は、好奇心によって育まれ、磨かれた感性は、新たな好奇心を生み出す。また、感性と好奇心は記憶の質を高め、記憶は将来の行動や思考の基盤となる。こうした関係性に基づき、人々の感性と好奇心、記憶をつなぎ、新たな創造エネルギーに変えることを狙いとする。

- (1) 芸術文化サポートプロジェクト ～感性をつなぐ 感動や体験を活力に～
県民や市町ホールとの協働により、県内各地で行われる多様な文化や芸術体験を通じて個人の感性を豊かにし、文化や芸術を育む土壌をつくる。
- (2) 創造発信プロジェクト ～好奇心をつなぐ 次代につなぐ新たな芸術を～
表現者、創造者らとの協働により、滋賀の魅力や未知の可能性に対する好奇心を喚起し、新しい発見と学びを文化や芸術に還元する。

- (3) 調査情報発信プロジェクト ～記憶をつなぐ 地域の誇りを活動の力に～
滋賀の「記憶」を探り、記録し、つないでいく器として、季刊誌「湖国と文化」を発行し、滋賀の文化と未来を考えるための情報を提供する。また、専用ウェブサイトを活用し、芸術文化関係者への情報提供とコミュニケーションを充実させる。

5 事業内容

- (1) 芸術文化サポートプロジェクト ～感性をつなぐ 感動や体験を活力に～

① アートコラボレーション事業

市町文化ホールを対象に、地域の魅力を次世代に伝える意欲のある企画や、創造的つながりを求める人たちの活動を育む企画などを募集するホールプロデュース部門。芸術文化関係の団体や個人を対象に、分野を越えた交流により新たな地域文化の創造を目指す意欲的な企画や、地域や企業と連携するなど芸術文化関係者の活動基盤強化に資する企画を募集するアートコーディネーター部門を実施する。

また事業の一環として、活動に関するアーツマネジメントセミナーや談話会を開催し、技術支援と活動社同士の交流に取り組む。

② 滋賀県芸術文化祭開催事業<滋賀県受託事業>

県民の文化活動の発表の場として、滋賀県芸術文化祭を開催する。

③ 県内文化情報提供事業<滋賀県受託事業>

県内の文化施設で行われる文化イベント情報を集約し提供する。

④ 活動支援事業

- (2) 創造発信プロジェクト ～好奇心をつなぐ 次代につなぐ新たな芸術を～

① 地域連携アーツ・イニシアティブ事業

芸術と地域の関係がより深まり、県民が広く芸術に親しむための新しいアプローチによる公演を行う。地域の歴史や自然、伝統文化、あるいは社会の関心事をモチーフにしたプログラムや、劇場以外の歴史的建造物や公共空間を利用して特別な鑑賞体験を提供するとともに、新たな観客層の創出につなげる。また、アーティストにはプログラムや空間などの制約を創造性に転換し、表現の可能性を広げていただく場とする。

ア) びわ湖・アーティスト・みんぐる（＊文化・経済フォーラム滋賀共催事業）

多彩な表現者が滋賀の風土や文化に触れて、芸術公演を制作するアートプロジェクト。制作プロセスを重視し、実演者だけでなく作曲家や美術家、コーディネーターの感性や創造性、知見を観客と共有する。

イ) しがユニークベニュー公演

劇場以外の地域の特別な場所で、特別な鑑賞体験を提供する芸術公演。異業種・異分野のコラボレーションで、芸術と地域資源の新たなコンテンツとしての価値を引き出す。

ウ) アーツ& コミュニケーション・コンサート

演奏者と観客の双方に提案し、対話を促すプログラムで、社会の様々なテーマの関心層と芸術をつなぐ音楽公演を実施する。演奏者の表現の可能性を開き、観客に能動的な鑑賞体験の場をつくる。

(3) 調査・情報交流プロジェクト ～記憶をつなぐ 地域の誇りを活動の力に～

① 「湖国と文化」発行事業

県民文化の総合誌として、滋賀の歴史・文化と暮らし、地域の魅力を県内外に届ける「湖国と文化」の発行を行う。1977年の創刊以来、記事は寄稿を主体としており、各分野から滋賀の文化に関わるキーパーソンが執筆者として参加。県民の視点から滋賀の文化を記録し発信する雑誌として滋賀の記憶をつないでいく。

② 情報発信提供事業

専用ウェブサイトは、センターのビジョンである『芸術文化で人と人をつなぎ、対話と共感、創造を育むオープンな場』を見える形で提供する重要な器である。利用者にとって使いやすく、魅力的な情報提供と交流の場となるよう、イベント情報だけでなく、コラムやSNSも活用して芸術文化に関するお役立ち情報や話題を配信する。